

2023年2月24日

報道各位

住友林業株式会社

**国産ヒノキ材を宝飾芸術学校の特別講座会場に提供
国産材の活用、再利用で脱炭素社会の実現に貢献**

住友林業株式会社(社長:光吉敏郎 本社:東京都千代田区)は「レコール ジュエリーと宝飾芸術の学校 日本特別講座」の会場となる教室に国産ヒノキ材を提供します。設計デザインは日本を代表する建築家の一人である藤本壮介氏が担当。質の高い学びの場や居心地の良い空間を創出したという藤本氏の思いに応え、住友林業が105ミリx105ミリの角の国産ヒノキ材を提供し、グループ会社の株式会社エイムクリエイツ(社長:伊藤優子 本社:東京都中野区)が施工を担当しました。会期終了後は提供したヒノキ材を再利用し、住友林業のオフィスで打合せコーナーのテーブル、ベンチ等として形を変えて活用します。木材は長期にわたり炭素を固定し続けるため、木材をリサイクル、リユースし、長期に活用し続けることは脱炭素社会の実現につながります。

「レコール」はフランスのハイジュエラーであるヴァン クリーフ & アーペルの支援により2012年にフランス、パリに創設されたジュエリーと宝飾芸術の学校です。現在ではパリと香港に拠点を置き、世界各国の都市で特別講座を開催しています。東京でも定期的に行われており、今春は2月24日～3月10日の期間限定で、京都芸術大学外苑キャンパス内(東京都港区)で開講される予定です。

「レコール 日本特別講座」の教室の内装は受講者が見て、触れて木の良さを感じられるようにデザインされました。ヒノキの角材は本棚、テーブル、ベンチ、展示台等として学びの場に穏やかな心地よさをもたらします。木材の木目や香り、そして温かみのある柔らかな感触は人に集中とリラックス効果*をもたらします。レコールを訪れる受講者には木の効用やその良さを感じていただけます。

(*ご参考:HP「木の家 Lab」<https://sfc.jp/ie/tree/lab/influence/>)

住友林業グループは森林経営から木材建材の製造・流通、戸建住宅、中大規模木造建築の請負、不動産開発、木質バイオマス発電など「木」を軸とした事業をグローバルに展開しています。2022年2月にSDGsの目標年である2030年を見据え、長期ビジョン「Mission TREEING 2030」を発表しました。住友林業のバリューチェーン「ウッドサイクル」を回すことで森林のCO2吸収量を増やし、木造建築の普及により炭素を長期にわたり固定し、自社のみならず社会全体への脱炭素に貢献します。

「レコール ジュエリーと宝飾芸術の学校 日本特別講座」会場



《本件に関するお問い合わせ先》

住友林業株式会社 コーポレートコミュニケーション部 佐藤・北浜
TEL 03-3214-2270 / Eメール: ccom@sfc.co.jp